

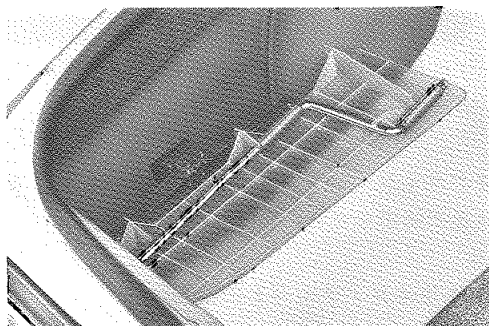
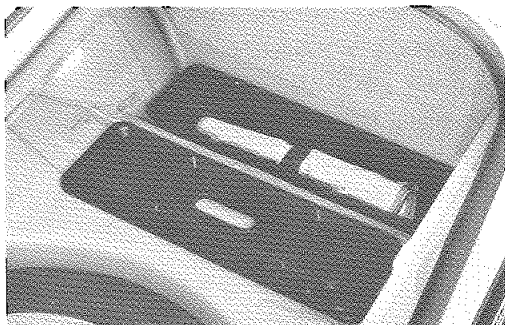


車の簡単な手入れと処置



工具とジャッキ

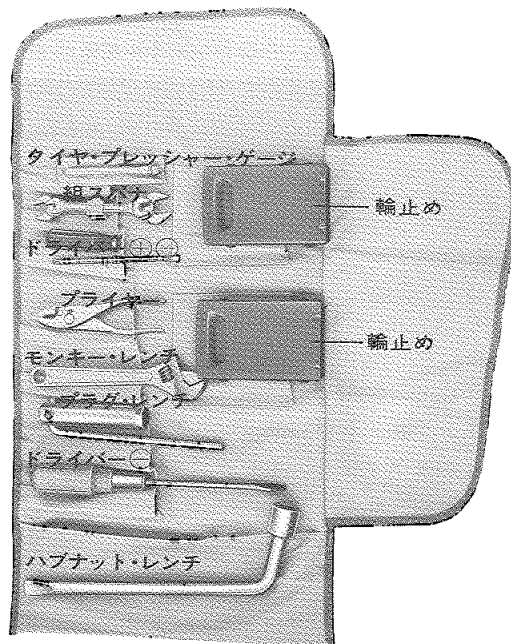
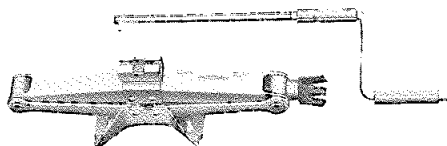
■格納位置



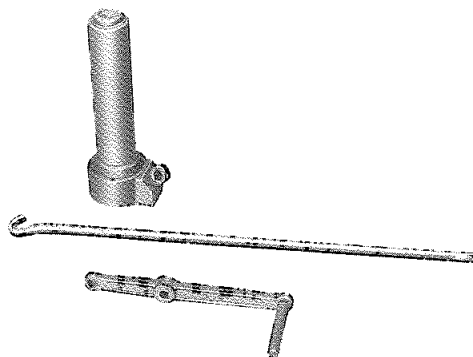
〈セダン車〉

ワゴン車の工具とジャッキは、フロント・シートの下に格納されています。

〈セダン車〉

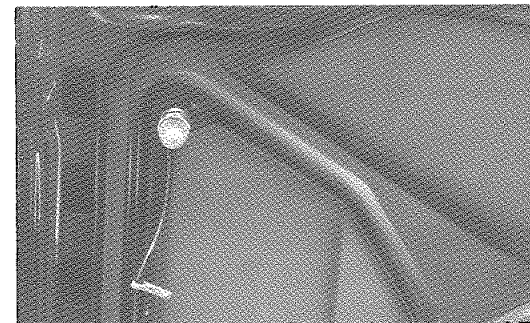


〈ワゴン車〉



点検灯

〈L車のみ〉



エンジン・フード裏側に、エンジン・ルーム・ランプが取り付けられています。

これは、ライトコントロール・スイッチをONにした時に点灯します。

夜間のお車の点検などにご利用ください。

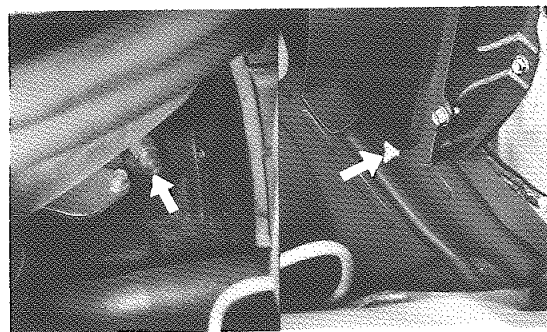
冷却水の交換

マークII車には、必ずロングライフ・クーラントをご使用ください。

キャッスル・ロングライフ・クーラントは、冷却水と不凍液とを兼ねていますから、四季を通じて使用でき、2年または50,000kmまで交換する必要はありません。

冷却水の交換

- 1 = エンジン・ドレイン・プラグをはずす。
- 2 = ラジエータ・ドレイン・コックをはずし、ラジエータ内を洗浄します。



- 3 = エンジン・ドレーン・プラグを取りつける。
- 4 = ラジエータ・ドレーン・コックを取りつける。

<注意>

- 1. 冷却水を補給する場合はラジエータ内の冷却水と同程度の濃度のものを補給してください。

ラジエータ内濃度……………30%
 (寒冷地では濃度……………50%)

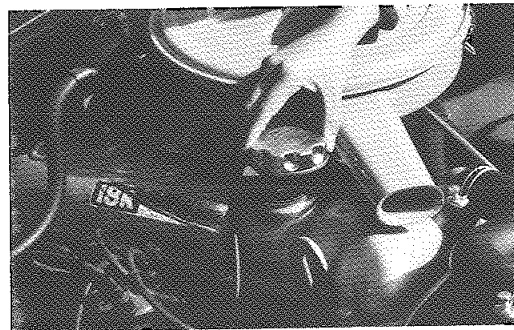
- 2. 新車および冷却水交換の場合は、エンジン内に空気が残り走行 1,000km程度までは冷却水の減少が見られますが、異常ではありません。走行 1,000km程度で点検・補給してください。

エンジン オイルの交換

- 1 = エンジン・オイル・ドレーン・プラグをはずす



- 2 = エンジン・ドレーン・プラグを取りつけ、オイル・ファイラー・キャップをとりはずしオイルを注入する。

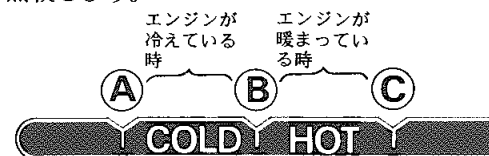


オイルはトヨタ純正キャッスル製品をご使用ください。

トヨグライドフルードの点検

トヨグライド・フルードの点検 <トヨグライド車>

- 1 = 車を水平な場所におき、エンジンをアイドリング状態で④にします。
- 2 = レベル・ゲージをきれいにふき再びもどして点検します。



- 3 = フルドが不足しているときは、規定量まで、補給してください。

トヨグライド・フルードはトヨタ純正キャッスル製品をご使用ください。

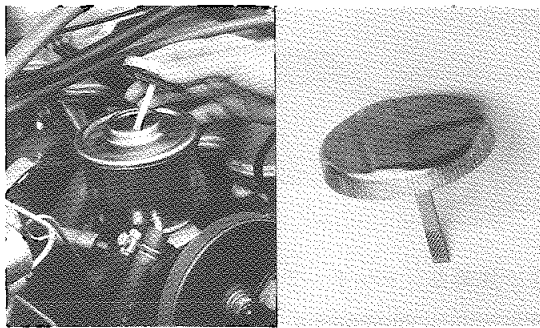
<注意>

〔トヨグライド・フルードの補給は〕

規定量入れましょう。
規定量以外ですと作動がにぶくなります。

パワー ステアリング オイルの点検

〈L車オプション仕様〉



パワー・ステアリングのオイル量を 5,000km 走行程度ごとにお調べください。

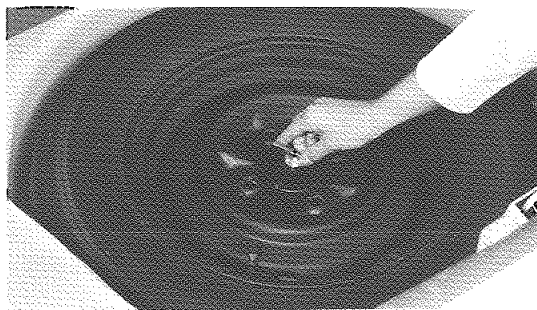
キャップを左に回して取り、オイルがキャップ・ゲージの目盛内にあるか確認します。

パワー・ステアリングのオイルには、必ずキャッスル・パワー・ステアリング・フルードをお使いください。

パンクの処置

車を道路の左はしによせて

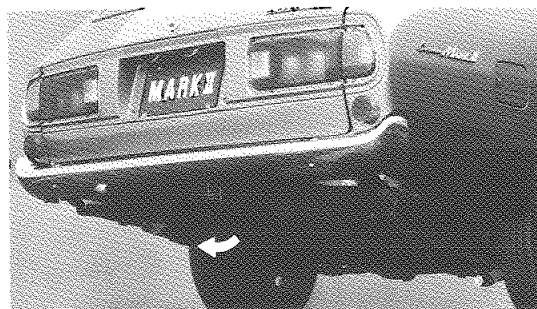
- 1 = 工具、ジャッキ、スペア・タイヤをとり出します。
- 2 = セダン車は、スペア・タイヤの蝶ネジを左にまわしてとり出します。



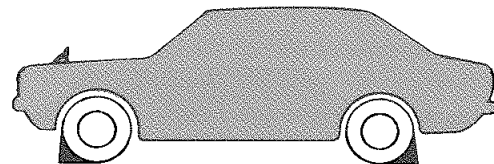
ワゴン車は、ハンドルを起こしてフックからレバーをはずします。

スペア・タイヤ・キャリアをそっとおろし、スペア・タイヤを取り出します。

(スペア・タイヤ盗難防止のため、錠前等)で施錠することもできます。



- 3 = 輪止めをします。

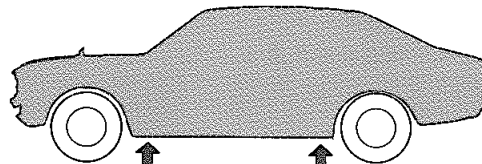


左側パンク時……右側前後のタイヤ
右側パンク時……左側前後のタイヤ

- 4 = ジャッキがはずれたときの危険防止のため、スペア・タイヤをパンクしたタイヤのボデーの下に置きます。
- 5 = ホイール・キャップをドライバーではずします。直接ホイール・キャップに指をかけて引くことはやめてください。
- 6 = ジャッキをセットします。

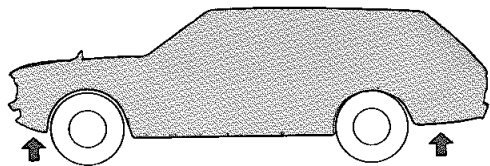
〈セダン車〉

交換する車輪に近いサイド・レールの切りかき部にジャッキの受けをはめます。



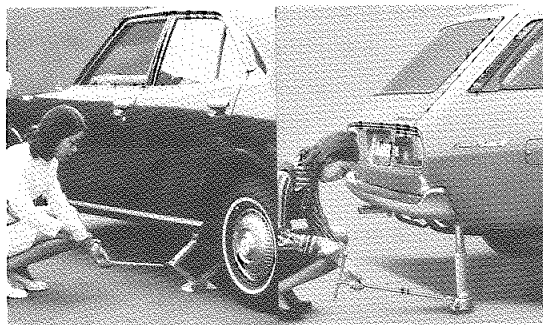
〈ワゴン車〉

交換する車輪に近いサイド・メンバーにジャッキをセットします。サイド・メンバーの前端、後端にジャッキの受けがあります。



7=タイヤが、がたつかない程度にハブ・ナットをハブ・ナット・レンチでゆるめます。

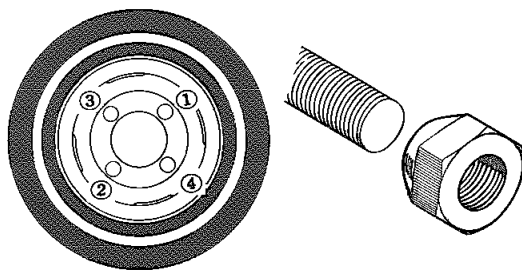
8=タイヤと地面とが少しあくまでジャッキ・アップします。



9=ナットをはずします。

10=タイヤをとりかえます。

11=タイヤがガタつかない程度にナットを締めます。このときナットの方向をまちがえないように確かめましょう。



12=ジャッキをはずします。

13=ナットを確実に締めつけます。

14=タイヤの空気圧を正規にします。

15=タイヤの空気口にキャップの穴を合わせホイール・キャップをとりつけます。

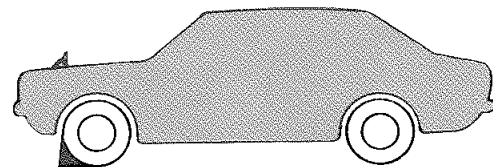
16=工具をもとにもどし、パンクしたタイヤは、すぐ修理しておきましょう。

タイヤチェーン

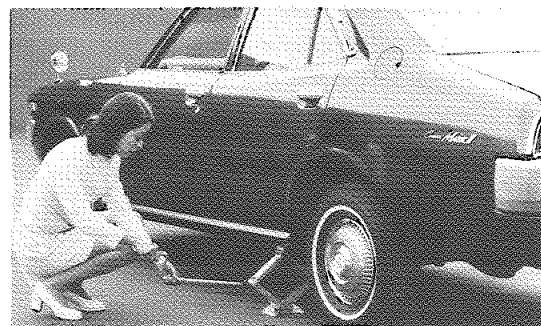
タイヤ・チェーンは後2輪に取り付けます。

〈取り付け方〉

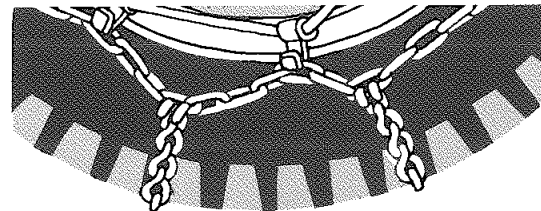
1=前2輪に輪止めをします。



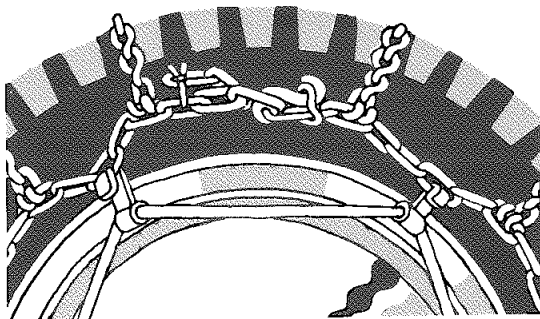
2=後輪をジャッキ・アップします。



3=クロス・チェーンの折り曲げを外にして後輪にかぶせます。



4 =チェーンの両端を連結します。チェーンが余ったときは針金で結びます。



5 =チェーン・バンドはクリップの爪を外向きにし、チェーンをひっぱります。

6 =ジャッキをはずします。

〈取りはずし方〉

チェーン・バンドをはずし、内側クリップを先にはずします。

スペア・タイヤにタイヤ・チェーンを取り付けてからタイヤ交換をすると簡単にできます。

ヒューズ、ランプ類の交換

〈故障のしらべ方〉

運転席右足もとのヒューズ・ボックスのカバーにヒューズ容量と主回路名が記入してあります。

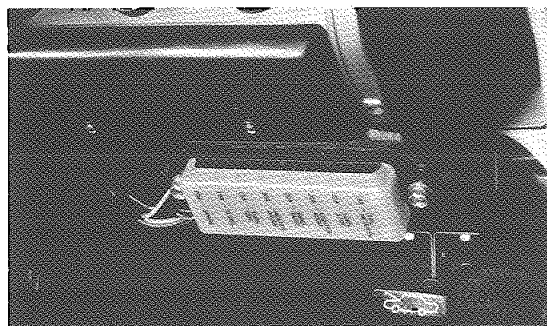
そのヒューズの受けもっている配線全部が作動しないときはヒューズきれと考えられます。

1つだけ作動しないときは、ランプ切れかまたは配線に不具合があります。

配線に不具合のある場合はサービス工場で点検を受けてください。

〈ヒューズの交換〉

1 = ヒューズ・ボックスのふたをとります。

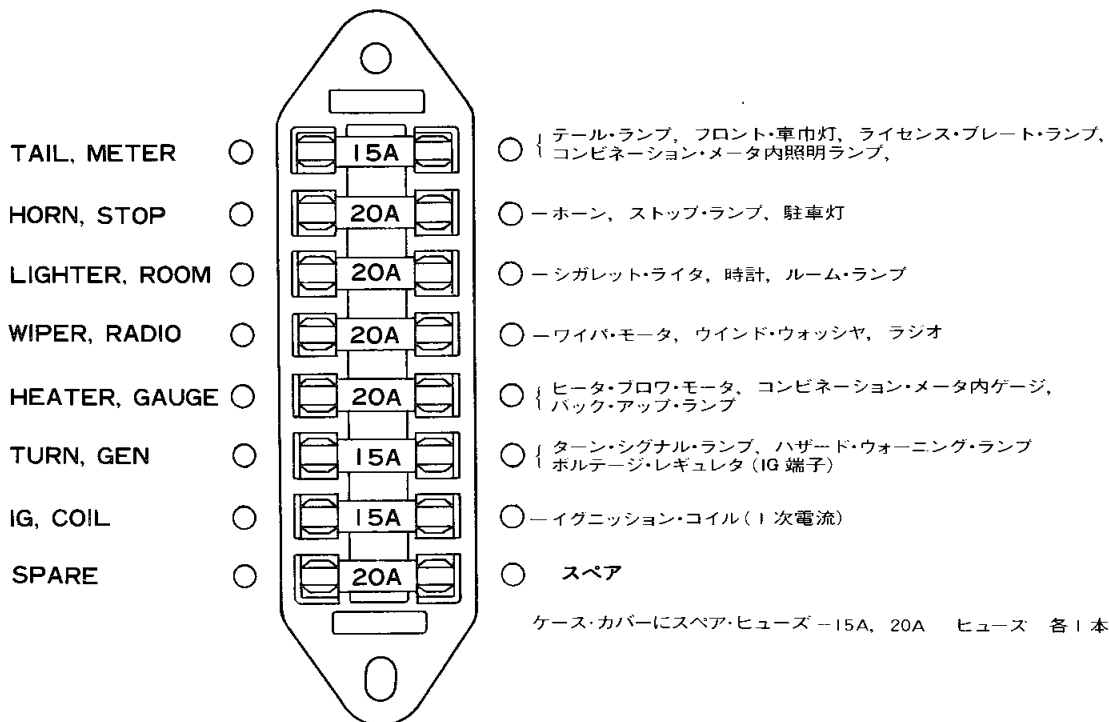


2 = ヒューズをはずします。

3 = 切れたものと同容量のヒューズを交換します。

何度もヒューズが切れる場合は、針金、銀紙等を使用しないで、サービス工場で点検を受けてください。

各ヒューズの受持っている電気関係の部分は下図のようになっています。



■ランプの交換

フロント



リヤ<セダン車>

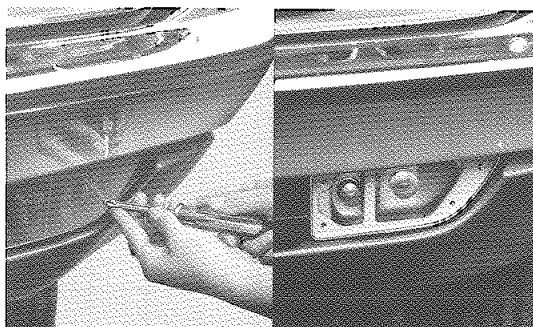


リヤ<ワゴン車>



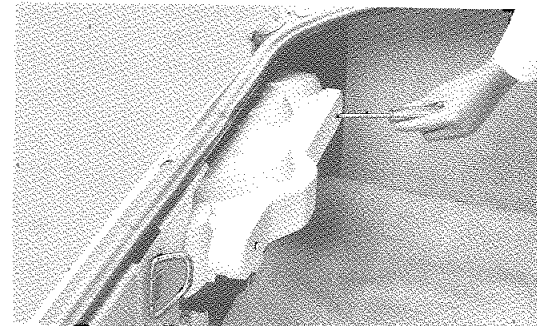
- 1 = サイド・ターン・シグナル・ランプ
フロント・ターン・シグナル・ランプ
フロント・パーキング・ランプ

- ①ビスをはずします。
②ランプは押して左にまわしてははずします。

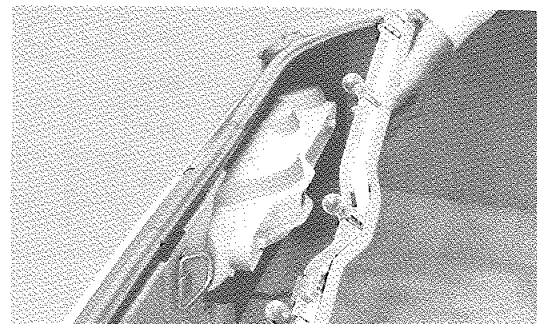


- 2 = リヤ・コンビネーション・ランプ
<セダン車>

- ①トランクをあけカバーをはずします。

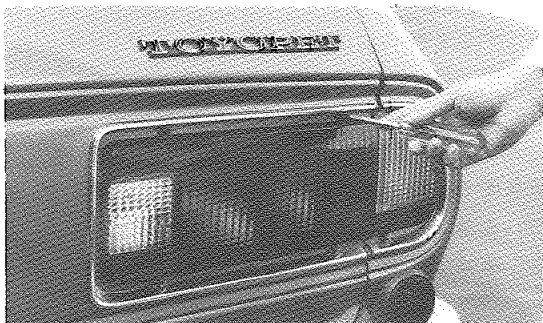


- ②ランプ・ソケットを左にまわしてははずします。

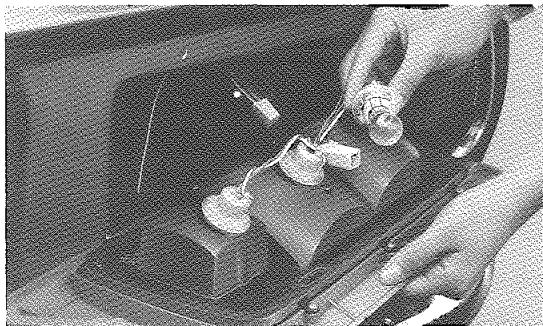


＜ワゴン車＞

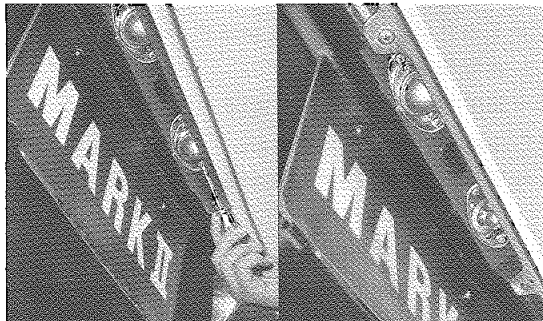
①ビスをはずします。



②ランプ・ソケットを左にまわしてはずします。



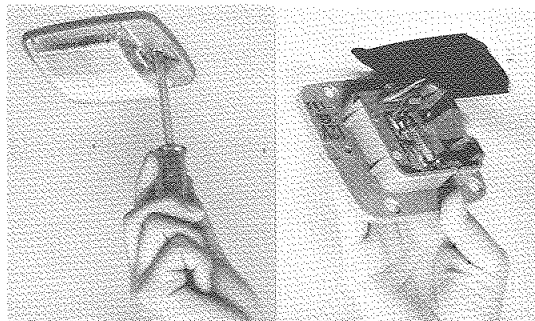
3 = ナンバー・プレート・ランプ



4 = ルーム・ランプ

①スイッチをOFFにしてビスをはずします。

②ランプは、ひっぱってはずします。



＜注意＞

ダブル・フィラメントの電球は、方向性があります。電球のポッチの位置にご注意ください。

＜セダン車＞

テール&パーキング・ランプ……………7/3.4W

ターン・シグナル・ランプ……………23W

ストップ&テール・ランプ……………23/8W

バック・ランプ……………23W

＜ワゴン車＞

ターン・シグナル・ランプ……………23W

パーキング・ランプ……………3.4W

ストップ&テール・ランプ……………23/8W

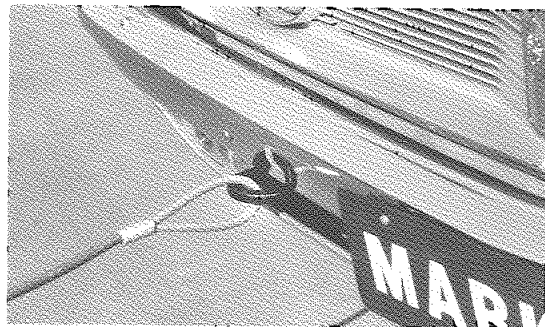
バック・ランプ……………23W

けん引について

〈けん引ロープをかける位置〉

フロント

けん引フック（オプション）を取り付けてください。けん引フック以外には、絶対ロープをかけないでください。

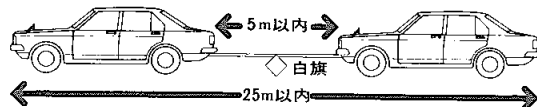


リヤ



〈けん引のしかた〉

左側のフックは絶対使用しないでください。



けん引される車は常にロープがたるまないように気をつけましょう。

塗装の手入れ

車を美しく保つには、日頃のお肌(塗装)の手入れが必要です。

ボデーのほこりは柔らかい布か毛ばたきでとりましょう。

塗装面が汚れたときは、なるべく早く洗車をし、汚れのひどいときは洗剤を使用しましょう。

また塩分が付着したときは必ず洗車しましょう。ワックスがけは適時、ボデーにつやのなくなったとき行なってください。

〈洗車方法〉

- 1 = 下まわりを洗いましょう。
- 2 = スポンジかセーム皮で水量をたっぷりにして洗いましょう。
- 3 = 汚れのひどいときは、必ずカーシャンプーを使用してボデー温度が体温以下になってから洗いましょう。
- 4 = 塗面に、はん点が残らないよう充分水分をふきとりましょう。

〈ワックスがけ〉

- 1 = 1カ月に1度または水をはじかなくなったとき行なってください。
- 2 = 使用方法はワックスに記されていますからよく読んでお使いください。
- 3 = ワックスがけはボデーが体温以下になってから行なってください。
高温では塗装面が柔らかくなっていますからしみになる恐れがあります。